

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和 3 年 3 月 8 日

事業所名 : 放課後等デイサービス 愛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	11			室内に必要以上の物を配置しないこと で、できるだけスペースを広くとるよう に工夫をして、棚や壁の各部分にはクッ ション材や敷物を広げ、事故防止に努 めている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	11			昨年度から児童指導員を増員して、さら にきめ細やかなサービスを提供でき るように環境を整えている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	11			危険と思われる場所にはクッションを用 いて安全を配慮しながら利用者が自 由に動けるように工夫している。また、 扉を外し二部屋間を自由に移動でき るようバリアフリー化を行う	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いるか	5	6			日々行っているサービス提供会議と振り返 りには、スタッフ全員が参加している。 また、会議当日、休みの職員は申し送りノ ートを活用し、全員が同じ目線でサービスの提 供ができるよう配慮している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	10	1		保護者様からの希望等を詳細に聞き取 り、職員間で情報を共有して改善につな げている。また、日常からメール等の情 報伝達を活用して保護者の意向を把握 し、サービスに反映させるように努めて いる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	10	1		愛だよりを通して保護者の方には公開 している。法人のホームページにも公開 している。	一般財団法人 愛心会ホームページ https://aishinkai.co.jp/
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	1		10	第三者機関による評価は行っていない。 しかし、利用者様周囲の学校や他 の事業所、保護者の皆さんからの評価 や要望に対しては積極的に対応する ように心がけている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	9	2			今年度はコロナ禍の影響で法人内研修会を あまり出来なかったが、利用者様に係わる 項目を多方面にわたり勉強できるよう、積極 的に研修の機会を設けるようにする。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	11			係わるスタッフ全員が、親御さんとの信 頼関係の強化を念頭に、利用者様の情 報を少しでも多くいただけるように考え ながら接し、ニーズや課題などを分析し て計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 しているか	11			アセスメントツールを基に事業所内で 作ったツール「要約」を活用し、利用者 様の状況を客観的に分析し、関わる職 員が同じ目線で支援に繋がれるよう に努力している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	9	2		看護面や情緒面など、利用者様の状態 に合わせて全員で作成し、その利用者 様の活動プログラムのねらいを全員で 理解するように心がけている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	10	1		一人一人の個性や身体状況に合わせ るよう考えて活動プログラムを作成し ている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	10	1		利用者様の個性に合わせて年間・月間 の各予定を、四季折々の行事に織り込 んで対応している。また親御さんの要望 に合わせて送迎できるような時間なども配 慮している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	10	1		利用者様の特性や個性を考えながら、 主に社会性の拡大を狙った集団活動 と、リハビリ・情緒面を主体とした個別活 動のサービスプログラムを心掛けている。 。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認しているか	9	2		昼礼時に支援開始前にミーティングを 行い、申し送りや伝達事項を行った後に 支援活動に入っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	4	送迎の関係もあり、当日の振り返りは時間的に毎回できないが、前述のミーティング時に伝達や反省事項などを共有し、支援活動の発展につながるよう配慮している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1		個人記録や親御さんとの連絡ノート、また、業務日誌に必要と思われる事項を記載し、今後の改善や振り返りの際の資料としている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11			半年、または体調や情緒などの継続変化時にサービス計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9	2		利用者様にあった支援活動をガイドラインの放デイの基本的役割に照らして職員間で方向性を確認しながら行っている。	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		看護や情緒・性別など、利用者様が必要とする支援状況に応じた職員を選出するようにしている。	医療的ケアの利用者様は看護師を選出している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10		1	学校へのお迎え時に情報共有を行うようにしている。連絡調整も何かあれば行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	2		主治医からの指示書をいただいて対応している。詳細な事項は保護者様や主治医と相互に連絡を取り合い、情報の共有を心がけている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5	3	利用者様の便宜を図るうえで積極的に情報の共有に努めたいと思っているが、プライバシーに係ることなので保護者様の同意を前提としている。	今年度、小学校一年生が利用を始めましたが、コロナ禍の影響で出来ませんでした。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2	1	対象事業所から、依頼があった場合に伝える用意はしていたが、連絡が無かったので行えてはいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	6	一部の支援センターに必要時の連絡は取っているが、日常的な交流はない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	8	職員の子供達に来園していただき、交流することがあったが、現在はコロナ禍の影響により中止している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	7		参加したいのだが、サービス提供時間内は人手が必要なのでなかなか参加できないのが現状である。しかし、なるべく参加できるように調整したいと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10		1	送迎時や電話・メールなどを活用して、ご自宅と一元的なケアに繋がられるよう親御さんとの共通理解に努めるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	5	昨年度は、摂食指導対象児と関わっているため、親御さんを軸に医療連携でのモグモグ外来と当事業所での支援連携を行った。	
保護者への 説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		事業所運営の根幹部分であるので丁寧に実施している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2		保護者様との信頼関係を重視して保護者様の気持ちに寄り添っていきけるよう、個人情報に配慮しながら行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	7	保護者会等の開催支援は行っていない。そのような要望も無い。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		苦情がまだ発生していないので何とも言えないが、苦情の発生時は初期対応が大切なので迅速に対応したい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			広報「愛だより」を発行している。また、必要に応じて各種の情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	11			広報での写真掲載や相談所や他の事業所、学校等の連携等、保護者等に確認し、配慮している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			電話やメールなどで保護者様と利用者様の橋渡しをしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	9	ご近所の方についてはこの事業所の特性などをお話して、隣組のお隣づきあいのことは行っている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	1			マニュアルについては開所当時に作成、配置しています。玄関とプレイルームの二か所に設置しています。保護者の方には再度、愛だよりにて説明を行いたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			年に二回の避難、救出訓練を実施しています。実施後は愛だよりにて行った内容を説明しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			年間を通して、法人全体で研修をしている。外部研修も参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11			デイサービス計画に記載している。また保護者の様にも十分に説明し、そのうえで身体拘束の同意書のサインをお願いしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	1	食物アレルギーの有無と対応については事前に保護者様に説明し、食物アレルギーの有無等についての確認書をいただいている。医師の指示書はない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			ヒヤリハットは重大な事故につながる第一歩なので、職員教育の励行とともに、ヒヤリハット報告書を作製して日頃からの注意喚起を行っている。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。